

令和3年度

今年はオンラインにて開催します

全国知的障害関係施設長等会議

開催要綱

【テーマ】

障害のある方の望む暮らしの実現に向けて

～障害者総合支援法施行後3年の見直しを踏まえて～



1日目：10月6日 水 全体会

2日目：10月7日 木 分科会

【テーマ】

障害のある方の 望む暮らしの 実現に向けて

～障害者総合支援法施行後3年の
見直しを踏まえて～

現在、国において、障害者総合支援法の見直しの議論が行われています。目指すべき方向性は、障害のある方の意思決定を支援の中心とすることであり、多様性を認め合える寛容な地域共生社会を実現することにあります。障害福祉関係者や事業所、スタッフ等の働きにより障害福祉サービスが充実してきている一方で、虐待事案の発生や、社会における差別・偏見、長期にわたる多床室での生活、本人の意思ではない遠く離れた場所での生活等、未だ目指すべき方向性とは相反するような厳しい実態もあり、現場で重責を担う施設長には、障害福祉制度の理解と活用、人材の採用・育成、利用者主体の経営や地域との関係構築等、課せられている課題が数多くあります。

こうした中、今回は「障害のある方の望む暮らしの実現に向けて～障害者総合支援法施行後3年の見直しを踏まえて～」をテーマに、時代を拓く実践者として今取り組むべき課題を共有する機会としたいと考えます。

これまでとは異なりオンラインでの開催となりますが、全国より多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

主 催 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
会 期 令和3年10月6日(水)・7日(木)
開催方式 オンライン配信
参加対象 ①障害福祉施設・事業所の長
(施設長および管理者)
②障害福祉施設・事業所の中堅幹部職員
③社会福祉法人等役員
④地方自治体の担当者及び関係者

参 加 費 ①会員・準会員 11,000円
②一般 18,000円

申込締切日 令和3年9月17日(金)

※申込締切日以降のお申し込みは、会員・準会員であっても上記参加費②一般の扱いとさせていただきます。

※参加費入金後の返金はいきませんので、ご了承ください。

※申込みいただいた参加者一人に対し一つのアクセス権を付与します。

登壇者は、都合により変更になる場合があります。

1日目

10月6日 水

下記の時間に限定したライブ(一部収録映像)配信となります

全体会

● 12:00～12:55

入室(受付) ※12:55分から諸案内

● 13:00～13:30

開会式・表彰式

● 13:30～14:30

行政説明

竹内尚也(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
障害福祉課 課長)

● 14:30～15:00

協会活動報告・課題提起

井上 博(日本知的障害者福祉協会 会長)

● 15:00～17:00

シンポジウム

障害のある方の望む暮らしの実現
に向けて

～障害者総合支援法施行後3年の見直し
を踏まえて～

障害のある方の望む暮らしの実現に向けて今何が必要なのか、意思決定支援や積極的権利擁護の視点などを含め、障害者総合支援法がどのような方向で改正されることが望ましいか議論します。

シンポジスト

● 樋口幸雄(日本知的障害者福祉協会 副会長)

● 北川聡子(日本知的障害者福祉協会 副会長)

● 雄谷良成(日本知的障害者福祉協会 理事)

助言者

● 松崎貴之(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
障害福祉課 地域生活支援推進室
虐待防止専門官 障害福祉専門官)

コーディネーター

● 久木元司(日本知的障害者福祉協会 政策委員長)

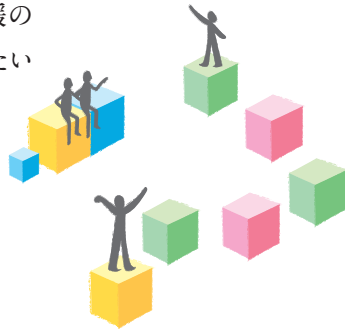
(敬称略)

第1分科会

【テーマ】

子ども施策全体を見据えた
障害児支援の役割

貧困・ヤングケアラー・虐待・自殺企図、不登校など、コロナ禍の影響も加わり日本全体で困り感のある子どもが増えており、このような困り感のある子どもや家族への支援が喫緊の課題として求められています。こうした状況に対して、障害児支援は、たくさんの役割を担うことが出来るのではないのでしょうか。本分科会では、今一度障害児支援の役割を考える機会としたいと思います。



● 行政説明(50分)

これからの障害児支援の役割

河村のり子(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
障害福祉課 障害児・発達障害者支援室
地域生活支援推進室 室長)

● 講演Ⅰ(40分)

障害児入所施設実務者会議からの報告

田村和宏(立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授)

● 講演Ⅱ(40分)

障害児通所施設の在り方検討会について

柏女霊峰(淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授)

● シンポジウム(50分)

障害児支援の未来

シンポジスト

田村和宏(立命館大学 教授)

柏女霊峰(淑徳大学 教授)

水流純大(鹿児島県:あさひが丘学園 施設長)

助言者

河村のり子(厚生労働省)

司会

北川聡子(副会長/児童発達支援部会 部会長)

(敬称略)

第2分科会

【テーマ】

これからの暮らしのかたち

居住支援サービスは、障害のある方だけでなく、誰もが迎える高齢期などにおける“他者との共生の場”としての地域生活の一つのあり方です。入所施設・グループホーム・シェアハウスなど、呼称はさまざまですが、その目的は、くつろぐ・食べる・楽しむ・眠るといった、あたりまえの生活がその人らしく営まれることです。

本分科会では、政策委員会居住支援ワーキングチームでの検討結果を踏まえ、当事者にとって真に選ばれる暮らしの場を確認し、それぞれの観点から、現状や課題、目指すべき方向性について議論を深めるとともに、今後の居住系サービスの形態や制度のあり方を考えたいと思います。

● 基調講演(60分)

多様なニーズに応じた住環境について(仮)

松田雄二(東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻
准教授)

● 報告(40分)

政策委員会居住支援に関するワーキングの概要

白石孝之(政策委員会副委員長/居住支援に関するワーキングチーム座長)

● パネルディスカッション(80分)

多様化するニーズと居住支援サービスの機能と役割

パネリスト

榎本博文(理事/障害者支援施設部会 部会長)

最上太一郎(理事/地域支援部会 部会長)

白石孝之(政策委員会副委員長/居住支援に関するワーキングチーム座長)

助言者

松田雄二(東京大学大学院 准教授)

司会

樋口幸雄(副会長/著しい行動障害への対応に関する検討委員会委員長)

(敬称略)

第3分科会

【テーマ】

利用者を中心に考える就労系事業の機能と果たすべき役割

今年度の報酬改定によってA型事業には新たにスコア方式が導入され、B型事業では基本報酬の類型化等がなされました。また現在、国において検討されている障害者総合支援法の見直しでは、短時間雇用や加齢等によって働き方に変化が生じる利用者への福祉サービスのあり方や、福祉と雇用の連携強化を柱とした就労アセスメントの制度化、福祉と雇用の両分野の専門性を有する人材を育成するための研修のあり方、A型事業のあり方などが論点とされています。

本分科会では、上記の課題を共有するとともに、知的障害のある利用者を中心に考えた就労系事業の本来の目的や今後求められる機能と果たすべき役割について考えたいと思います。

● 行政説明(60分)

就労系事業における令和3年度報酬改定の影響と障害者総合支援法の見直し、雇用と福祉の連携強化について

日高幸哉(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 課長補佐)

● 調査報告(30分)

就労継続支援A型調査報告について

岡崎俊彦(生産活動・就労支援部会 東北地区代表委員)

● パネルディスカッション(90分)

利用者を中心に考える就労系事業の機能と果たすべき役割～障害者総合支援法の見直しと雇用と福祉の連携を中心に～

パネリスト

高橋一裕(理事／生産活動・就労支援部会 部会長)
志賀正幸(生産活動・就労支援部会 副部会長)
長谷川浅美(生産活動・就労支援部会 関東地区代表委員)

ゲスト

日高幸哉(厚生労働省)

(敬称略)

第4分科会

【テーマ】

重い障害のある方の日中活動と社会生活支援

障害者権利条約への批准、障害者総合支援法の施行をはじめ、様々な法制度の整備によって重い障害のある方の暮らしを支える仕組みは年々充実してきています。

しかしながら、地域的な特徴の差異や、制度・サービスの有機的連携の未熟さ、サービス提供事業所が抱える課題などによって重い障害のある方への支援は、十分整っている状況にあるとは言えません。

本分科会では、重い障害のある方の社会参加に着目し、制度やサービスの有機的連携やサービス提供現場の課題などについて議論を深め、「重い障害のある方の望む暮らしの実現」に向けた制度や関係機関の連携、サービス提供事業者とその役割について考えたいと思います。

● 講演(60分)

重い障害のある方たちの日中活動と生活支援について(仮)

矢島雅子(京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 生活環境学科 講師)

● パネルディスカッション(120分)

重い障害のある方の日中活動と社会生活支援

パネリスト

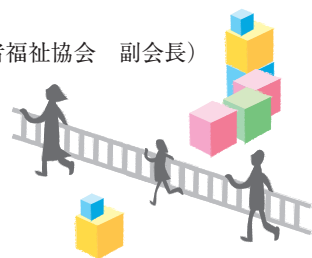
森下浩明(理事／日中活動支援部会 部会長)
富岡貴生(理事／相談支援部会 部会長)
大垣勲男(日中活動支援部会 北海道地区代表委員)

助言者

矢島雅子(京都ノートルダム女子大学 講師)

司会

近藤忠彦(日本知的障害者福祉協会 副会長)



(敬称略)

お申込みについて

令和3年度全国知的障害関係施設長等会議の参加申込み受付は株式会社日本旅行が行います。お申込みにつきましては、下記の参加登録サイト(日本旅行サイト)よりお申込みください。参加登録サイトまたは日本知的障害者福祉協会のホームページに、申込みから当日視聴までの流れなどを掲載しておりますので、ご確認くださいませようお願い致します。

【登録申込サイト】

<https://va.apollon.nta.co.jp/jaid03/>

● 参加に関するお問い合わせ

株式会社日本旅行 東日本法人支店

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10-11 日本橋河川ビル2階

Tel: 03-6892-5104 Fax: 03-6892-1830

E-mail: jaid_3@nta.co.jp

営業時間: 9:30-17:30(土日祝日休業) 担当: 江草・長田

● 開催事務局(会議内容に関するお問い合わせ)

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会(<http://www.aigo.or.jp/>)

全国知的障害関係施設長等会議担当: 柘植・水内

東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6階 TEL03-3438-0466(代表)

